

平成 30 年度第 1 回西区地域包括支援センター運営協議会議事録

1. 日時 平成 30 年 7 月 19 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
2. 開催場所 西区役所 4 階 大会議室
3. 出席者 石原委員、越後委員、工野委員、中辻委員、井上委員、藤原委員、森鼻委員、河内委員、白井委員、衣川委員、中村委員

*傍聴人なし

4. 議題

- (1) 平成 29 年度あんしんすこやかセンターの運営状況について
 - ①西区あんしんすこやかセンターの実績報告について
 - ②西区あんしんすこやかセンター連絡会等の実施状況について
- (2) 平成 30 年度あんしんすこやかセンター事業計画書について
- (3) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて
(指定居宅介護支援事業者等の選定における確認書の受理状況)
- (4) あんしんすこやかセンターの自己評価について
 - ①自己評価作成の目的・内容等の説明
…………以下、非公開…………
 - ②あんしんすこやかセンターの自己評価について
- (5) 特定事業所へのサービス集中率について
- (6) 地域包括ケア充実のための事業目標について
- (7) その他

7. 当日出された主な意見及び事務局回答（公開部分のみ）

・苦情件数については、件数に対して実人数が 3 名だが、苦情の内容は把握しているか。膨大な仕事量からくる問題なのか。

→同じ方から数回、あんしんすこやかセンター職員の対応に対するご意見をいただいた。

・「地域主催の会議」「行政等主催の会議」「センター主催の会議」とあるが、同じような内容の会議なのか、違った内容の会議なのか。また、「行政等主催の会議」と「地域主催の会議」を合わせると 1 圏域あたり年間 200 回以上の会議を行っている。毎日のように会議を行っていることになるが、あんしんすこやかセンター職員の負担が大きいのではないか。何か共通項は見出せないのか。

→「センター主催の会議」は、あんしんすこやかセンターが自ら企画した地域の連絡会等である。「行政等主催の会議」は、あんしんすこやかセンター連絡会等であんしんすこやかセンターと区との情報共有や検討をおこなっている。「地域主催の会議」は、地域が主体で行っており地域との関係づくりに役立っている。どの会議も必要な会議と考えている。

・給食会など小さな会議が数多くあり、一人のあんしんすこやかセンター職員が全てに参加しているわけではない。あんしんすこやかセンター職員で分担して参加している。

- ・平成 29 年度月別実績報告について、玉津あんしんすこやかセンターの相談件数を実人数で割ると 1 人あたりの相談件数が 2 件程度だが、西区全体で見ると 1 人あたりの相談件数は 5 件程度になる。報告のカウンターの仕方は合っているのか。平成 28 年度は 1 人あたり 7 件程度だったと記憶している。実際にはどれくらいの方が相談に来ているのか。同じ方が何度も相談をしているのを数えているのか。そのあたりが分かるように提示してほしい。

→平成 28 年度の玉津あんしんすこやかセンターは、1 人あたりの相談件数は 7 件程度。28 年度は約 3,000 人の相談だったのに対し、29 年度は 9,544 人と増加している。相談に来られる方が多くなっていることが伺える。また、月別実績報告書の作成方法については担当課にも伝えておく。

- ・西区は 9 あんしんすこやかセンターがあり地域特性が違う。圏域別の高齢者数を公開資料として提示してはどうか。実際の高齢者数がわからないと何も評価できないのではないか。神戸市の資料だけでなく、西区の特徴を考慮して資料を作成したほうがよいのではないか。

- ・地域支え合い活動の中で、ICT 見守りの件数が、全市と西区で大きく違うが実際はどれほど活用されているのか。

→ガスメーター等 ICT 見守りの利用件数は少ない。要因としては、民間のサービスや携帯電話の普及で住民が多様なサービスの中から選択していると考えている。数字だけでは評価しにくいのが実状である。14 年前から導入されたが、今となっては多様なサービスの中の 1 つである。情報提供はするが、月額でお金がかかるため導入まで至らない方が多いと考えている。

- ・民間のサービスの登録者数の把握はしているのか。

→ガスメーター等 ICT 見守りをあんしんすこやかセンターが情報提供して利用につながった件数を提示している。ガスメーター等 ICT 見守り以外の登録者数は把握していない。

- ・民生委員だけでは見守り対応ができないほど対象者が増加している。民間のサービス等を紹介するが、月額でお金がかかるため利用につながらない。対象者からは、民生委員や地域の方に見守りをしてほしいという声を聞くが、充分に対応できない。

→インターネットなども日々進化しているので、公的なサービス以外のものも活用した上で、より良い対応につながればと考えている。